

月刊

河井克行

平成二十四年一月一日号

衆議院議員 河井克行事務所

自由民主党広島県第三選挙区支部

国会事務所 TEL:03-3508-7518 FAX:03-3508-3948

広島事務所 TEL:082-832-7301 FAX:082-878-3301

ブログ「あらいぐまのつぶやき」 <http://kawai.fine.to/katsu>

今年こそ、「大きな絵」を描く政治を！

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい平成二十四年の新春をお迎えになられたことを心よりお慶び申し上げます。本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年になりますことをお祈り申し上げます。

政治は、国民に失望を与えてしまいました。

先の総選挙でわが自由民主党に厳しい審判を突きつけた国民は、期待をしたはずの民主党政権二年数か月間の混乱・迷走と無能さに心底から落胆をしています。東日本大震災の復旧・復興、放射能汚染の広がり、日米同盟の揺らぎ、中国の軍事的台頭と尖閣諸島領海侵犯事件、超円高の進展、日本経済の低迷、TPPへの交渉参加、膨れ上がる社会保障関係予算、消費税などの増税…。次々に襲ってくる国家的な危機に対して、民主党政権は後手後手の対応、不適切な対応に終始し、日本の国力は損なわれ、国の威信は傷ついてしまいました。

国民にひとかけらの希望も与えられない日本の政治の有り様に大きな責任とともに恥ずかしさを感じています。「強く豊かな日本」を建て直そうと同じ志を抱いた超党派中堅・若手国会議員とともに、この国を根っこから変えていくため、今年私は立ち上がります。皆様のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

河井克行



2011年ノーベル平和賞関連行事(オスロ)に出席 三人の女性受賞者たちから学んだことは

臨時国会閉会の翌12月10日、河井克行代議士は一路、ノーベル平和賞の受賞式典が開催されるノルウェー王国の首都・オスロへと飛び立ちました。CNNフォーラム(受賞者座談会)やノーベル賞記念コンサートなどに出席。三人の女性たち、エレン・ジョンソン・サーリーフ(リベリア共和国大統領＝アフリカ初の民選女性大統領)、リーマ・ボウイ(リベリア平和活動家＝内戦の終結と女性の参政権)、タワックル・カルマン(イ



同行の原口一博・元総務大臣とノーベル平和賞受賞者座談会を聞く(オスロ市庁舎)

エメン人権活動家＝女性の権利と平和の構築)の肉声を聞き、大いに刺激を受けました。



2011年平和賞特別展にて
(ノーベル平和センター)

かつて外務大臣政務官としてアフリカ・中東を担当した河井代議士には、社会を変えるために立ち上がった彼女たちの勇気がどれほどのものか想像するに余りあります。言葉の端々から、困難な環境でも志を曲げなかった不屈の決意を感じ取りました。政治家にとって、実際の行動に裏打ちされた付けがいかにかに大切か。三人の姿に河井代議士は心の底からの感動を覚えました。

こんなところにも政権交代のしわ寄せが

激減した国の直轄事業予算

[太田川床上浸水対策、西部山系砂防、可部バイパス]

広島三区における代表的な国の事業といえば、①太田川中・上流部床上浸水対策特別緊急事業、②広島西部山系直轄砂防事業、③一般国道54号可部バイパスが挙げられます。[太田川床上浸水対策]は、平成十七年九月の台風14号による浸水被害の復旧として、河井克行代議士が採択に尽力した事業です。[西部山系砂防]は平成十一年6.29集中豪雨による甚大な災害の再発を防止するため、『土砂災害防止法』の制定と合わせて河井代議士が採択に尽力した事業です。[可部バイパス]は河井代議士が平成八年の衆議院初当選以来、上根バイパスまでの一日も早い全通を目指し予算確保に尽力してきた事業です。自公政権時代には順調に国の予算が配分されてきました。

ところが、平成二十一年夏の政権交代により状況は一変。各事業への予算配分が大幅に削減されたのです。別表の通り、[太田川床上浸水対策]は自公政権時と比べて16.5%の減少、[西部山系砂防]は28.4%の急減、[可部バイパス]は平成二十年度と比べてなんと七分の一へと激減。このため、事業の進捗は遅れています。地元のご要望にきちんとお応えすることは地元選出国會議員の大切な仕事。広島三区関連予算が再び増える日が来るよう、河井克行代議士は全力で頑張ります。

(単位:百万円)

事業名	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
太田川中・上流部床上浸水対策特別緊急事業	2,539	2,990	2,805	2,497
広島西部山系直轄砂防事業	3,314	3,938	2,725	2,822
一般国道54号 可部バイパス	1,310	847	757	200

<出典>平成20年度から平成23年度、中国地方整備局長から広島県知事あて及び広島市長あて事業計画通知から抜粋
※各年度の事業費(補正予算等を含む)を計上している